

## (2) 第一種管理化学物質排出量等届出書の記入例

### ① 主たる業種が燃料小売業以外の事業所

様式第23号の16（第50条の15関係）

第一種管理化学物質排出量等届出書		〇〇年〇月〇日
届出先の行政の長を記入 ① 事業所が所在する市町村の長 大阪市、堺市、岸和田市、豊中市、池田市、吹田市、高槻市、貝塚市、枚方市、茨木市、八尾市、泉佐野市、富田林市、河内長野市、松原市、箕面市、東大阪市、大阪狭山市、阪南市、豊能町、能勢町、太子町、河南町、千早赤阪村の事業所 ② 泉大津市長 泉大津市、忠岡町※の事業所 （※化管法の届出先は忠岡町長） ③ 大阪府知事 上記以外の市町の事業所		〇〇〇〇 様
届出者 住所 氏名		届出時点における住所、法人名、代表者の役職・氏名を各記入欄に記入 <b>※押印不要</b> 大阪市中央区大手前2丁目〇-〇 株式会社大阪化学工業 代表取締役 大阪太郎 代理人 大阪第2工場長 〇〇〇〇 （法人にあっては、名称及び代表者の氏名） 代理人が届出を行う場合は、代表者名と代理人名を併記
〇〇〇〇の2第2項の規定により、第一種管理化学物質の排出量等		
事業者の名称	株式会社大阪化学工業	排出量等の把握対象年度の4月1日時点における名称を記入 ※化管法届出事業所は、化管法届出と同じ名称を記入
前回の届出における事業者の名称		
事業所の名称	大阪第2工場	前回の届出時から変更がある場合のみ記入 ※変更がない場合は記入不要
前回の届出における事業所の名称		
事業所の所在地	〒 559-0034 大阪市住之江区南港北〇丁目〇-〇	会社全体の従業員数（把握対象年度の4月1日時点）を記入 ※p9-2（Q2-4）参照
事業者が常時使用する従業員の数	業所の従業員数（把握対象年度の4月1日時点）を記入 ※p9-2（Q2-4）参照	40人
事業所において常時使用される従業員の数	※化管法届出事業所は、化管法届出と同じ人数を記入	25人
事業所において行われる事業が属する業種（うち主たるもの）	化学工業	業種コード 2000
第一種管理化学物質（第一種指定化学物質を除く。）の排出量、移動量及び取扱量	別紙1のとおり	
第一種管理化学物質（第一種指定化学物質に限る。）の取扱量	別紙2 表番号1～ 1のとおり	
届出をする事業所数の変動に関する事項	記入不要	製造業等24業種から選択 ※化管法届出事業所は、化管法届出と同じ業種を記入 ※p10-1～p10-2参照 ※Excel版ではプルダウンメニューから選択
本届出について生産技術上・営業上の秘密に係る情報の有無	○：無 □：有（秘密とする内容を記載した書類を添付してください。）	無・有のいずれかに「○」を記入 ※p5-1参照
担当者（問合せ先）	部署名 〇〇部〇〇課 （ふりがな） 〇〇〇〇 〇〇〇 氏名 〇〇 〇〇 電話番号 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇 電子メールアドレス 〇〇〇〇@〇〇〇.〇〇〇	本届出の問合せ窓口となる担当者の情報を記入 ※担当者の所属が本社等で当該事業所と異なる場合は、部署名に担当者の所属する事業所名を記入
※ 受付欄		
備考	※印の欄には、記載しないこと。	

○別紙1-1の記入例（主たる業種が燃料小売業以外の事業所）

VOC（揮発性有機化合物）記入用

別紙1-1 第一種管理化学物質（揮発性有機化合物に限る。）の排出量、移動量及び取扱量																	
記入欄番号	第一種管理化学物質の名称	主な用途	排出量 (kg)				移動量 (kg)				取扱量 (kg)						
			イ	ロ	ハ	ニ	イ	ロ			イ	ロ	ハ				
			大気への排出	公共用水域への排出	当該事業所における土壌への排出（ニ以外）	当該事業所における埋立処分	下水道への移動	当該事業所の外への移動（イ以外）			製造	使用	その他（イ、ロ以外）				
		排出先の河川、湖沼、海域等の名前			埋立処分を行う場所 1 安定型 2 管理型 3 遮断型	移動先の下水道終末処理施設の名称	当該第一種管理化学物質を含む廃棄物の処理方法又は種類 （該当するものに○を記入すること（複数選択可））										
								廃棄物の処理方法 （該当するものに○を記入すること（複数選択可））									
1	VOC（揮発性有機化合物）	30:塗料・インキ 37:溶剤	350	0.1	淀川	0	0	20	此花下水道処理場	2000	1 脱水・乾燥 2 焼却・熔融 3 油水分離 4 中和 5 破砕・圧縮 6 最終処分 7 その他	8 燃え殻 9 汚泥 10 廃油 11 廃酸 12 廃アルカリ 13 廃プラスチック類 14 カラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず	8 木くず 9 繊維くず 10 動植物性残さ 11 動物系固形不要物 12 ゴムくず 13 金属くず 14 カラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず	15 鉱さい 16 がれき類 17 ばいじん 18 その他	0	10000	0
排出量及び移動量の単位に関する事項																	
備考 1 移動量の単位は、kgとする。 2 排出量、取扱量の有効数字は、小数第2位以下を四捨五入すること。 3 ※の欄は、廃棄物としての処理方法を記載する。ただし、排出量又は移動量が1kg未満の場合は、小数第2位以下を四捨五入すること。																	
※																	

2-3

VOC（揮発性有機化合物）を記入  
※Excel版ではプルダウンメニューから選択

主な用途を2つまで記入  
※p10-3 用途一覧参照  
※Excel版ではプルダウンメニューから選択  
※用途が「20：石油・燃料」のみの場合で、主に燃料を自社で消費せず出荷している（燃料を製造・出荷している等）場合は、両方の用途欄に「20：石油・燃料」を選択

公共用水域への排出がある場合は、排出先を記入  
※排出先の公共用水域の名称はp10-4に記載のホームページを参照  
※Excel版ではプルダウンメニューから選択

下水道への移動がある場合は、移動先の下水道終末処理施設名を記入  
※移動先の下水道終末処理施設の名称はp10-4に記載のホームページを参照  
※Excel版ではプルダウンメニューから選択

廃棄物を処理した場合は、マニフェストに記入した廃棄物の処理方法及び廃棄物の種類について、該当するものに○を記入  
※「廃棄物の処理方法」と「廃棄物の種類」は、少なくともどちらか一方を必ず選択してください。  
※Excel版ではプルダウンメニューから選択。

前回の届出値と比較し、排出量や移動量が大きく変化した場合、その理由を簡単に記入

自社では製造も使用していないが、取り扱っている場合の量（例）他社から購入した薬品を一旦タンクに貯蔵し、それをビンに小分け詰めして出荷する場合など

排出量、移動量及び取扱量の有効数字は、上から3桁目を四捨五入し2桁の数値に丸めてください。（単位はkg）  
ただし、排出量又は移動量が1kg未満の場合は、小数第2位以下を四捨五入すること。  
例：0.0493kg ⇒ 0.0kg、0.0926kg ⇒ 0.1kg、0.302kg ⇒ 0.3kg、9.98kg ⇒ 10kg、1875kg ⇒ 1900kg、9987kg ⇒ 10000kg、10766kg ⇒ 11000kg

○別紙 2-1 の記入例（主たる業種が燃料小売業以外の事業所）

化管法対象物質記入用

記入欄番号	第一種管理化学物質の名称	第一種管理化学物質の番号	主用途	取扱量(kg)			排出量及び移動量の増減に関する事項
				イ 製造	ロ 使用	ハ その他(イ、ロ以外)	
1	300:トルエン	300	30:塗料・インキ	0	1000	0	排ガス処理装置を設置し、大気への排出量を削減した。
	300:トルエン						
	302:ナフタレン						
	308:ニッケル						
	309:ニッケル化合物						
	312:有機溶剤						
	314:有機溶剤						
	316:有機溶剤						
	317:有機溶剤						

2-4

化管法対象物質名を記入  
※p10-5 ~ p10-16 第一種管理化学物質（第一種指定化学物質に限る）参照  
※Excel 版ではプルダウンメニューから選択

主な用途を2つまで記入  
※p10-3 用途一覧参照  
※Excel 版ではプルダウンメニューから選択  
※用途が「20:石油・燃料」のみの場合で、主に燃料を自社で消費せず出荷している（燃料を製造・出荷している等）場合は、両方の用途欄に「20:石油・燃料」を選択

取扱量の有効数字は、上から3桁目を四捨五入し2桁の数値に丸めてください。（単位はkg）

例 : 1875kg ⇒ 1900kg      9987kg ⇒ 10000kg  
10234kg ⇒ 10000kg      10766kg ⇒ 11000kg

